市街地で見かけるきつねへの対応について

きつねは山間部に生息していますが、エサを探して市街地にも現れます。エサを求めて姿を見せているので、エサがないことがわかるとその場所からいなくなります。きつねが寄り付かない環境をつくるために、みなさまのご協力をお願いいたします。

問 総合分庁舎農林課農林係 ☎ 77-8811 [内線122]



きつねへの対応について

きつねは鳥獣保護法により、野生動物として保護対象となっているため、原則駆除ができません。そのため、市街地に寄り付かないよう、環境づくりをすすめることが大切です。

●きつねを寄り付かせないようにするには

人からエサをもらったり、生ゴミの味を覚えたきつねは、学習して定期的に市街地に現れるようになるので、原因をつくらないことが大切です。

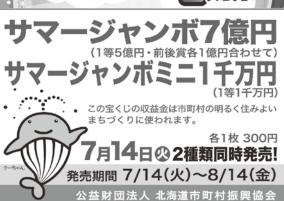
きつねが寄り付く場合は、寄せ付ける原因を見つけて除去したり、木酢液などきつねが嫌がるものを撒いたりすると効果的です。

●巣をつくり、居座ってしまった場合は

木酢液を巣の出入り口に撒いたり、大きな音を立てることを繰り返すと、巣を放棄することがあります。ただし、音を立てるときは周囲に配慮して行うようにしてください。







エキノコックス症について

エキノコックス症は、エキノコックスと呼ばれる 寄生虫の卵が、ヒトの口から体内に入り、幼虫となっ て肝臓などに寄生し、肝機能障害などを起こす病気 です。

エキノコックスの感染予防

エキノコックスは、主にきつねと野ねずみに寄生しており、自然界で野ねずみをきつねが捕食する関係がなされていることから、根絶は困難なものとなっています。

また、犬もきつねと同様に感染した野ねずみを食べることで寄生される可能性があります。人間には、エキノコックスの卵が口から入る(糞等で汚染された山菜や沢水を口にしたりする)ことで感染することがあります。

これらは日常の心がけで防ぐことができます。

- ●外から帰ってきたときは、必ず手を洗いましょう。
- ●野山の果実や山菜などを口にするときは、よく洗って十分熱を加えてから食べましょう。
- ●沢水や川などの生水は飲まないようにしましょう。
- ●飼い犬が野ねずみ等を捕まえて食べないように注 意しましょう。

エキノコックス症検診を 受けましょう

エキノコックス症は、エキノコックスが寄生してもすぐには自覚症状が現れず、放っておくと徐々に悪化して命にかかわることもあります。早期発見のため、5年に一度は検診を受けましょう。

- ●対象/市内在住で小学3年生以上の方
- ●日時/8月7日(金)

〈受付時間〉午前9時30分~午前11時

- ●会場/北斗市保健センター(中野通)
- **●検査方法**/血液検査
- ●検診料/無料
- ●申込方法/8月6日休までに電話又は市公式ホームページの申込みフォームからお申し込みください。

申込·問 市役所保健福祉課健康推進係[内線155]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更や中止になる場合があります。ご了承ください。

